



TOUR DE HOKKAIDO

ツール・ド・北海道2013大会のお知らせ

1 ツール・ド・北海道

1987年10月に日本最初のステージレースとしてツール・ド・北海道大会が開催されてから今回で27回目を迎えました。第11回大会からは、国際自転車競技連合（UCI）の公認大会として承認され、国際大会としても17回目を迎え、いまや国内有数のステージレースになっております。

ツール・ド・北海道には、海外からも多数のチームが参加を希望するなど、定評ある大会となっており、いわば「ツール・ド・フランス」の日本版です。

競技は1チーム5人のチーム成績と個人成績の両方を争うステージレースであり、海外、国内の各チームの選手は、団体優勝を狙うのは勿論、チームのエースに個人総合時間賞を獲得させようと様々な作戦でレースを展開します。

また、年々参加者が増えている市民レースも同時開催し、幼児から大人まで幅広く参加を募り、地域の活性化を図るとともに、この大会を盛り上げています。



2012大会 厚田地区付近

2 大会概要と日程

今年の「ツール・ド・北海道2013」は、道央地域を中心に9月14日（土）から16日（月・祝）までの3日間開催します。

大会期間中、3ステージを設けて各競技を行います。今年は3ステージ全てロードレースを行います。

初日は、倶知安町（ニセコグラン・ヒラフスキー場前特設会場）において開会式を行い、終了後、競技が開始されますが、第1ステージは、同会場から共和町、蘭越町、ニセコ町、豊浦町、洞爺湖町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町を経て最初のスタート地点である倶知安町に戻る180kmのロードレースです。

翌日の第2ステージは、前日のフィニッシュ会場からスタートし、共和町、泊村、神恵内村を経てスタート地点に戻る132kmのロードレースです。

そして最終日の第3ステージは、スタート地点の倶知安町から、赤井川村、

余市町、仁木町を経て小樽市までの116kmのロードレースで、全ての日程を終えます。

競技終了後、最終表彰式は、札幌市まで移動してモエレ沼公園特設会場において行います。

関係自治体は17市町村となり、総走行距離は428kmになる見込みです。

以下、各競技の詳細日程は、次のとおりです。

■ 開会式

9月14日（土）8時45分～9時5分

倶知安町「ニセコグラン・ヒラフスキー場前特設会場」

■ 最終表彰式

9月16日（月・祝）14時30分～15時

札幌市「モエレ沼公園特設会場」

■ ステージレース

- 第1ステージ（ロードレース） 9月14日（土） 180km
倶知安町（S：ヒラフスキー場前）～共和町、蘭越町、ニセコ町、豊浦町、洞爺湖町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町～倶知安町（F：ヒラフスキー場前）
- 第2ステージ（ロードレース） 9月15日（日） 132km
倶知安町（S：ヒラフスキー場前）～共和町、泊村、神恵内村～倶知安町（F：ヒラフスキー場前）
- 第3ステージ（ロードレース） 9月16日（月・祝） 116km
倶知安町（S：ヒラフスキー場前）～赤井川村、余市町、仁木町～小樽市（F：望洋サッカー場前）

■ 市民ステージレース

- 市民第1ステージ（ロードレース） 9月14日（土）
 - ・ Aコース 85km
倶知安町（S：ヒラフスキー場前）～共和町、蘭越町、ニセコ町～倶知安町（F：ヒラフスキー場前）
 - ・ Bコース 50km
共和町（S：老古美駐車場）～蘭越町、ニセコ町～倶知安町（F：ヒラフスキー場前）
- 市民第2ステージ（ロードレース） 9月15日（日）
 - ・ A、Bコース 67km

神恵内村（S：漁村センター前）～泊村、共和町～倶知安町（F：ヒラフスキー場前）

- 市民第3ステージ（クリテリウム）9月16日（月・祝）

札幌市モエレ沼公園特設コース 2.2 km～3.3 km

※ 参加募集期間

6月1日（土）から7月20日（土）まで

《募集要領は、公益財団法人ツール・ド・北海道協会ホームページ参照》

3 本大会における各ステージの特徴

○ 第1ステージ

第1ステージは、倶知安町ヒラフスキー場前をスタートして道道343号線を下り、花園地区を抜け、山間部を走り共和町に入ります。日本海を右手に望みながら変化に富んだ老古美地区の丘陵地帯から、難関のニセコパノラマラインを登り、今大会最大標高のチセヌプリの峠（標高831m）を越えて一気に下り、蘭越町、ニセコ町の山麓地帯を走り、国道5号を横断して、豊浦町に入ります。更に、西昆布岳の麓を回るように道道を走り、留寿都村、真狩村のジャガイモ畑を抜けて、「美しい村」の京極町のふきだし公園横を通り、倶知安町内羊蹄山（標高1,898m）北側約8kmの直線コースを疾走、再び国道5号を横断してから上り坂になり、スタート地点に戻るかたちで、ゴンドラ坂を登り切り、フィニッシュとなります。



○ 第2ステージ

第2ステージは、第1ステージと同じ倶知安町ヒラフスキー場前をスタートして、第1ステージと同じコースを走り、田園風景が続く共和町から国道229号に入り泊原子力発電所横を通り抜け、日本海の潮風を受けながら、泊村、神恵内村の海岸線を走り、神恵内村でUターンします。復路は、往路と同じコースを戻り、国道276号に入り共和町役場前を通過してから、再び老古美地区のアップダウンの丘陵地帯を走りながら倶知安町に抜け、スタート地点に戻るかたちで、ゴンドラ坂を登り切り、フィニッシュとなります。

○ 第3ステージ

第3ステージは、第1ステージと同じ倶知安町ヒラフスキー場前をスター

トして、倶知安町内を通過し、国道393号の樺立トンネル（全長2,001m）を抜けてから「美しい村」の田園地帯が広がる赤井川村に入ります。そこから冷水峠（標高343m）を越えて余市町に入り、果樹園が連なるフルーツ街道を走り、仁木町に抜け国道5号から銀山地区を通過して、再び赤井川村に入ります。更に、山間部の国道393号を走り、毛無峠（標高658m）から一気に難所のいろは坂を下り、最後は、小樽市朝里川温泉地区の望洋サッカー場前でフィニッシュとなります。

○ 市民レース

今年の市民ロードレースは、初めて2日間のコースを設定し、市民第1ステージと市民第2ステージはツール・ド・北海道2013のステージレースのコースを短縮して同じコースを使用します。

4 参加チーム

今のところ海外、国内登録（学生チームを含む。）合計20チーム、100名の選手が出場予定です。

問い合わせ先

札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル5F
公益財団法人ツール・ド・北海道協会

TEL 011-222-5922

FAX 011-232-4604



RING!RING!
プロジェクト

この大会は、競輪の補助を
受けて開催します。

<http://ringring-keirin.jp>

